



特集 SSH マレーシア海外研修 1/27~2/1

目的

- ① 研究開発課題「地域の豊かな自然環境の中で多様な能力を身に付け、世界に飛躍する科学技術人材の育成」達成に向けた一事業である。
- ② マレーシアの自然や科学、世界視野での貢献の3つについて学び、英語力の向上と国際性（国際感覚）の醸成等を目的として実習や研究発表を行う。
- ③ 英語による研究発表だけでなく、実習についても全て英語を使って行う。

なぜ海外、そしてマレーシアなのか

Q1：なぜ海外研修が必要なのか

A：天草の地から世界に飛躍するためには、「国際感覚の醸成」と「英語力の向上」が必須だと考え、海外研修を実施したいと考えました。

Q2：なぜマレーシアなのか

A1：世界の中で英語を使用している人は 25%いますが、ネイティブスピーカーはその中の 22%。つまり世界人口の約 6%しかいません。私たちの研究を本当に伝えたい人は、英語を第2言語としている人なのではないかという観点から、マレーシアを選びました。

A2：AS II では、天草の地域課題をテーマに、自然環境を素材とし研究しています。科学や経済が急速に発展しながら、天草と同じような自然環境も残っているマレーシアが最適であると考えました。

A3：研修に参加できる生徒は 10 名。天草高校は遠隔通信システムを持っているため、スカイプでのリアルタイム通信が可能です。よって、時差が1時間であるマレーシアを選びました。



マラヤ大学研修（1日目と2日目）

1 日目は森林研究センターなどでの水質調査、2 日目は工学部講義室での研究発表及び実習室体験です。マラヤ大学では、マレーシアの「自然を学ぶ」「科学を学ぶ」「貢献する」という3つの目標とたて、取り組みました。環境要因が森林に与える影響が異なることや、針を持たない蜂、他の生物の持つ毒を自分に蓄えるカエル、上半身と同じ大きさの葉を持つ木々など、現地では体験できないものに触れることができ、新たな学びとなりました。研究発表では、AS II の研究をマレーシアに活用できるという提案を行い、大学の先生方とディスカッションをしました。天草高校からもスカイプで研究発表を行うなど、充実した研修となりました。



森林センター研修



でっかい葉っぱ



動物博物館



英語でディスカッション



英語で研究発表



天草高校からスカイプで発表

在マレーシア日本国大使館、ルネサス企業研修（3日目）

在マレーシア日本国大使館で、実際にマレーシアで活躍されている日本人の方から、国際貢献の在り方を学びました。世界的広告代理店 McCANN の松坂様から「ボクが 18 歳までに教えて欲しかった 8 つのこと」と題して、ご自身のご経験を踏まえて御講演頂きました。また、ルネサス工場では、言葉や文化の違う方々と働く際には互いを認め合うことが大切であるということを教えていただきました。



日本国大使館にて



ルネサス企業研修



クアラルンプール空港にて

【生徒感想】

- 初めての海外だという不安を吹き飛ばすくらい、魅力や学びにあふれた場所でした。
- 海外で働きたいという気持ちが生まれました。目的をもって英語を勉強しようと思いました。
- 世界を視野に入れた研究を行うためには、自分が夢中で取り組めるものを探究しようと思った。

